

協議事項

〈JGN 関東大会の反省〉

- ・下仁田学習の話はうわさで聞いてはいたが、実施した先生から直接話を聞くことができたのが良かった かのジオパークの人にも伝わったのではないか (保科)
- ・系統的にジオパーク学習を行っているところは少ない これからも発展させていくべき (保科)
- ・教育委員会とうまく関われないジオパークが多い中、自然学校が教育委員会と関わってきた歴史があったからこそ組み込めたのではないか (鈴木)
- ・立派な発表ができていた (保科)
- ・ほかのジオパークの発表も聞きたかった (高橋)
- ・会場が細長くて議論をするにはあまり向いていなかったのではないか (高橋)
- ・不安な部分も多かったが、準備をしっかりとできたので当日には安心して発表ができた (谷川)
- ・リハーサルができたのが良かった (高橋)
- ・何度もやる必要はないが 1度はリハーサルをした方がいい (保科)
- ・はじめ日曜日に子供に発表させるのは難しいと断ったが、月曜日に実施することになり授業時間の調整が大変だった (小嶋)
- ・分科会とツアーでの小学生の発表の両方を対応するのはかなり忙しかった (小嶋)
- ・あったま汁を運ぶのは大変ではなかったのか (高橋)
- ・スケジュールの関係で外で食べることになってしまったが、それほど大変ではなかった (鈴木)
- ・大変なスケジュールの中ありがとうございました (関谷)
- ・子供の発表はほかのジオパークからも好評だった (関谷)
- ・後日「自分でも作ってみた」と連絡をもらっている (小嶋)
- ・レシピを配布したこともあり、かなり満足してもらっていた (鈴木)
- ・子供の発表のレベルが高かった (保科)
- ・発表はいい体験になった もう少し発表時間がほしかった (赤岡)
- ・島田先生の記録がとてもよかった 上毛新聞が来ていなかったので報告書を作るのにとっても役立った (保科)
- ・下仁田学習は知っていたがそれ以外の活動も盛んだったと知っておどろいた (島田)
- ・高校生にもぜひ参加してもらいたい (鈴木)
- ・交流会の料理が内容の割に料金が高かった (高橋)
- ・飲食店組合にお願いするときにねぎをアピールしすぎてしまった (鈴木)
- ・大会を毎年やるのは大変 全国と地区大会を交互に開催するなどの要望を JGN に出すこ

とはできないのか（保科）

- ・関東ブロック会議では地域の状況に合わせて実施していく方針になっている（関谷）
- ・ガイドや関係者の交流の場として地区大会は必要（関谷）

〈来年度の活動予定〉

- ・①自然学校と学校が連携して下仁田学習を続ける②先生向けの研修会を実施③応援団のミニ講座、ウォーキング④公民館活動 でいいのではないかと（保科）
- ・学校のカリキュラムが忙しくなっているが下仁田学習に影響は出ないのか（高橋）
- ・継続できる程度の負担におさえた方がよい 旗作りも週 1 の授業でやるのは大変だと聞いた（高橋）
- ・ジオの日は 20 日近くの土日の朝の方が子供などを連れて参加しやすい（鈴木）
- ・応援団でも検討したが 20 日にやる方針になっている（高橋）
- ・下仁田高校でジオに力を入れていくと聞いたが（鈴木）
- ・下仁田高校が現在コミュニティハイスクールの指定を受けている ジオパークもやっていきたい（島田）
- ・しかし、総合学習の時間は学年でカリキュラムを決めるので今の時点ではどうなるかわからない（島田）
- ・これまで下仁田高校でもジオパークを扱ってきているのでそれをまとめて下仁田学習としてもいいかもしれない（島田）
- ・1 年生では発見ウォークラリーというのを行い生徒に発表させている（島田）
- ・どんなまとめをしているのか（片山）
- ・穴埋め式のワークシートを使っている 発表は行内での発表を行っている（島田）
- ・ウォークラリーの際のガイドを付けることは可能（関谷）
- ・一緒にゴミ拾いもしてほしい（高橋）
- ・ねぎコロッケは給食にできないか（島田）
- ・今その方向で動いている（鈴木）
- ・ジオパークの活動は総合で時間が取れば実施できそう（島田）
- ・ウォークラリーはジオパークと絡めて何かできそう（片山）